

この通信は、創成東地区におけるまちづくりの取組を地域の皆様にお伝えするために、札幌市が発行するものです。

平成 29 年度 創成東地区まちづくりフォーラム

実施概要

- 日時：平成 30 年 3 月 2 日（金）18：30～20：30
- サッポロファクトリールーム（中央区北 2 条東 4 丁目）
- 参加者数：40 名
- 主催：札幌市 まちづくり政策局 都心まちづくり推進室

平成 26 年度に始まった「創成東地区まちづくりフォーラム」も今回で第 4 回となりました。今回のフォーラムは、「創成東地区プレイスメイキングの実践に向けて」を副題として開催させていただきました。

今年度、地区の皆さんと議論・検討を重ねてきた成果をとりまとめ、『実証実験案』としてご報告するとともに、創成東地区で活躍される方々やプレイスメイキングに係る専門家等をお招きしたパネルディスカッションを行いました。



1 活動報告

創成東地区における実証実験案について

①地区のための場づくりの仕組みを 実証する実験のコンセプト

- 居場所：誰もが集える場をつくる
- 回遊：まち歩きが楽しくなる街並みをつくる
- 連携：地区の誰もが参加できる仕組みをつくる

◆おさらい ～プレイスメイキングとは～

近年、国内外で実践されている、街なかにある十分に利用されていない様々な空間を、そこを訪れる人々が立ち寄り、交流し、時間を過ごしたいと思える価値・愛着のある「居場所」に変えるための取組。



②実証実験を行うターゲット(創成東地区プレイスメイキングの一手)

- ・皆さんが日常的に利用する動線上にあって、誰もが足を運びやすい場であること
- ・公園や空き地など、活用可能な空間的余地があること
- ・サッポロファクトリーや永山記念公園など、地区にとって重要な資源が近くにあり、この取組を起点に、人々がまち歩きを楽しめる回遊性が生まれること

東4丁目線 (いとなみの軸)



③プレイスメイキングの取組(実証実験において想定する実施内容)

歩道拡幅、ベンチ等の設置による憩い・交流の場づくり



道路の一部広場化や商業機能の仮設など、道路空間の活用



通りや沿道空間を一体的に活用した地区主体のイベントの実施



ワークショップ等による参加型の空間・イベントづくり



園田聡氏（日本各地でのプレイスメイキング実践者）、柴田寿治氏（地元まちづくり団体代表）、日向洋喜氏（地元放課後児童クラブの運営）、林匡宏氏（他地区でのプレイスメイキング実践者）の4名のパネリストをお招きし、「創成東地区プレイスメイキングの実践に向けて」と題して、地区の可能性、プレイスメイキングの方向性等についてディスカッションを行いました。



よい魅力的な場の実現につながる実証実験の内容とは？

- 【園田】『住んで楽しい』『こんなことが出来る街』と感じてもらうために、やれることから始める、出来ないことの原因を検証する。
- 【柴田】まちの「職・住・遊」の豊かさのために、まず「職」に関わる人の活動を取り込むことで、「住」「遊」へと波及させる。
- 【日向】今まで街に出てこなかったことも、子育て世代が主体的に活動できるきっかけをつくる。
- 【林】公園と道路を一体的に使うことで魅力的な街並みをつくる。

プレイスメイキングの先に描くビジョンとは？

- 【園田】それぞれが違う目標を持っていても、一緒に出来ることを考え、行動し、実績を積み重ねる中でまちを豊かにしていく取組が大切。
- 【柴田】誰もがこの地区の価値として大切にしている歴史を次の時代に伝え、様々な人が交流し、輪を広げるまちづくりが大切。
- 【日向】誰もが自分のやりたいことを持ち寄り、実現できる、活動を通じて地区のみんなが繋がっていくことが一つのゴールになる。
- 【林】取組を通じて、街なかに居場所となる場が増えていく、つながっていくことでまちの魅力を高めていくことが大切。

プレイスメイキングの担い手と持続的な活動に必要なことは？

- 【園田】やりたいことを責任を持って実現することで、周りに信頼され、協力を得られる主体になり、まちづくりの担い手となっていく。
- 【柴田】一緒に楽しみながらも、活動の担い手を育てていくような取組が必要。
- 【日向】やってみたいと思っている人に「やっていいよ」と背中を押してあげる寛容なまち、人の関係を築いていくことが大切。
- 【林】関わりたいと思っている人が、誰に相談すればいいのか、どこに行けば必要な人材に会えるかが分かる情報、窓口となる場が必要。

会場からの声

- ◎ものづくりの歴史を継承し、「何かをつくる街」を目指したい。
- ◎日常的に街の歴史を感じる、学べる仕掛けが良い。
- ◎「職・住・遊」それぞれの取組や融合の仕方、関わる人のイメージを具体的に持つことが必要。
- ◎一過性のイベントだけではなく、持続する取組が必要。
- ◎子どもも大切だがお年寄りが活躍できる場もあると良い。
- ◎活動の活性化のためには様々な人の関わりが必要。



会場の皆さんのお話を聞きながら、パネリストの林さんが即興で作成して下さった実証実験のイメージ図です。

【お問い合わせ】創成東地区まちづくりに関するご意見、ご提案、ご質問等ございましたら、下記までお知らせください。

札幌市 まちづくり政策局 都心まちづくり推進室 担当 山田 藤田

TEL 011-211-2692 E-mail ki.downtown@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-B02-17-2582
29-2-1543